

白山地域のイヌワシ 1 巣 2 雛の初めての順調な発育

上 馬 康 生 石川県白山自然保護センター
小 川 悟 日本イヌワシ研究会

THE FIRST RECORD OF TWO WELL GROWN NESTLING GOLDEN EAGLES ON A SAME NEST IN MT. HAKUSAN

Yasuo UEUMA, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*
Satoru OGAWA, *The Society for Research of the Golden Eagle*

はじめに

イヌワシの一巣卵数は日本では 1 ~ 3 個、平均 2 個であるが、雛が 2 羽孵化しても兄弟殺しが起こり、ともに順調に育つ例はごく稀で、最近では峰岸 (1999) による長野県の事例と須田 (2000) による福島県の事例が知られているくらいである。石川県内においては、1959年 4 月 11 日に小松市滝ヶ原町で巣から若い雛が 2 羽捕獲され、飼育されたことはあるが (上馬, 1980), 今まで自然状態で 2 羽が育ち巣立った例は確認されていない。また隣接する富山県、岐阜県、福井県の白山地域においても 2 羽の巣立ちは知られていない。2005年、白山地域のイヌワシ営巣地において初めて 2 羽の雛が順調に発育したことを確認したので報告する。

調査場所と調査方法

調査地は白山地域の尾添川水系の営巣地で、日本イヌワシ研究会コード番号 5117 の一営巣地である。調査は、巣から約 100m 離れた対岸の林の中から 20 倍 ~ 40 倍の望遠鏡により雛の状況を観察し、写真撮影を行った。イヌワシの繁殖に与える影響を少なくするため、巣への接近は毎回約 1 時間以内とし、雛を確認後、速やかに現場を離れるようにした。また、巣立ち後の調査は、6 月 ~ 7 月は営巣地を中心に半径約 1 km の範囲の上空観察及び鳴き声の調査を中心とし、9 月 ~ 10 月はより広範囲にわたる調査をした。



写真 1 2 羽のイヌワシ雛 (2005年 5 月 3 日)

結果及び考察

2005年 5 月 3 日に営巣状況を調査したところ、巣内に 2 羽のイヌワシの雛を確認し、1 羽は全身ほぼ白色で、他の 1 羽は一部に黒褐色の羽毛が見られた (写真 1)。中条ほか (1983) や、筆者の今までの観察経験により、前者は約 30 日齢、後者は前者より 3 ~ 4 日成長した状態と判断された。5 月 17 日には頭部は白色の羽毛に点状に黒褐色の羽毛が混じっている状態であり、5 月 25 日には一方の頭部は約 3 分の 2 が、他方は約 2 分の 1 が、それぞれ黒褐色となっていた。6 月 1 日には一方は頭部の全体が、他方も頭部のほぼ全体が黒褐色の羽毛となっていた (写真 2, 3)。なおこの間、兄弟間の争いは一度も観察されなかった。次の 6 月 9 日の調査では、巣内には



写真2 イヌワシ第1雛(2005年6月1日)

1羽の雛しか確認できなかったが、その雛の羽色や活発に羽ばたく行動から、発育状態は順調で巣立ち間近と考えられた。別の1羽については6月1日～6月9日の間に巣立ったものと推定された。6月9日は現場に約3時間いたが、付近に別個体の鳴き声や姿は確認できなかった。

その後、7月2日に巣から半径約1kmの範囲を滑空したり旋回上昇したりする1羽の幼鳥を確認した。10月28日には、巣から南西に約1kmの位置で10回ほど鳴き続ける幼鳥のものと考えられる声を聞き、11月10日には前記と同じ場所付近で旋回上昇後、南方へ遠く滑空していく幼鳥1羽を確認した。このことから少なくとも1羽の幼鳥は順調に生活していたと考えられた。

まとめ

坂口・千葉(1988)によると、秋田県では58日齢の第2雛が第1雛の攻撃が原因で巣から落下した例が知られている。しかし、今回の事例では6月1日の時点で2雛の発育状態は順調であり、争いも見られなかったことから、6月1日～6月9日の間に1



写真3 イヌワシ第2雛(2005年6月1日)

羽が巣立ったものと考えられ、もう1羽も6月9日以降の近い日に巣立ったと考えられる。ともに孵化後70日前後に巣立ったことになる。その後、幼鳥は1羽のみしか記録されておらず、11月まで生息していることが分かっているが、同時に幼鳥2羽を確認することはできず、2羽とも順調に秋まで生活していたかどうかは分からなかった。

文献

- 峰岸郁生(1999)長野5380ペアにおいて、ヒナ2羽巣立ち成功に至った事例。Aquila chrysaetos, 15, 14. 日本イヌワシ研究会。
- 中条正英・山崎 亨・真崎 健(1983)イヌワシの巣内ヒナの羽毛の成長過程について。Aquila chrysaetos, 1, 26-31. 日本イヌワシ研究会。
- 坂口 齊・千葉和彦(1988)高日齢で落下した第2雛の保護と巣立ち直後巣に戻った幼鳥。Aquila chrysaetos, 6, 28-29. 日本イヌワシ研究会。
- 須田義晴(2000)ペアコード3808が2羽の巣立ちに成功。Aquila chrysaetos, 16, 27. 日本イヌワシ研究会。
- 上馬康生(1980)石川県におけるイヌワシの分布および個体数。石川県白山自然保護センター研究報告, 6, 89-102。